

教科(科目)	福祉(生活支援技術)	実施学年 (履修規定)	第3学年 必修
単位数	2単位	教科書	
		副教材	最新介護学全書7 生活支援技術Ⅲ
科目の目標	自立を尊重した生活を支援するための介護の役割を理解させ、基礎的な介護の知識と技術を習得させるとともに、様々な介護場面において適切かつ安全に支援できる能力と態度を育てる。		
目標達成に向けての取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の尊厳の保持や自立支援の考え方、他職種連携などの知識を活用できるようにし、介護観や倫理観を育成する。</li> <li>・「こころとからだのしくみ」の授業と関連付け、講義・演習・実習を一連の流れとして指導し、サービス利用者の理解を深めるとともに、介護実践の根拠となる介護に必要な人体の構造や機能を理解させる。</li> </ul>		

◇ 進度

月	単元	学習内容・項目・活動等	評価方法・項目等	評価の規準等
4	利用者の状態・状況に応じた生活支援技術とは何か。	生活支援の授業について 授業の進め方と授業内容 実習時の心構え、服装、準備、レポート作成 実習室の使い方 生活支援技術と関連分野 社会福祉士及び介護福祉士法	プリント確認 レポート確認 行動観察 自己評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活支援技術について3学年で学習すべき内容がイメージできている。</li> <li>・生活支援技術で求められていることについて理解できている。</li> </ul>
	障害に応じた生活支援技術	視覚障害に応じた介護 視覚障害者と生活の理解 生活支援と環境整備	レポート確認 実技練習相互評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・視覚障害に応じた介護技術の基本が習得できている。</li> </ul>
5		聴覚・言語障害に応じた介護 聴覚障害について 聴力検査・補聴器 言語障害について	レポート確認 実技練習相互評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・聴覚・言語障害に応じた介護技術の基本が習得できている。</li> </ul>
	中間考査			
6	自立に向けた生活支援技術	レクリエーションと介護 サービス利用者の状態や状況に応じた生活の活性化やレクリエーション活動の在り方、介護場面におけるレクリエーション活動の役割を取り上げる。	実技発表観察 レポート確認 実技発表相互評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習施設に応じたレクリエーションをの基礎的な技法が習得できている。</li> </ul>
7		介護実習		
期末考査				
8		夏季休業中レポート・自主学习		

月	単 元	学習内容・項目・活動等	評価方法・項目等	評価の規準等
9	障害に応じた生活支援技術	運動機能障害に応じた介護 運動機能障害とADL 生活場面と支援のポイント 介護技術の展開	相互評価	・運動機能障害に応じた介護技術の基本が習得できている。
10		精神障害に応じた介護 精神障害者と生活の理解 生活支援と環境整備 介護技術の展開 重複障害（盲ろう）に応じた介護 盲ろう者と生活の理解 生活支援と環境整備 移動における介護技術の展開	演習観察 レポート確認 自己評価 確認テスト	・精神障害者と生活の理解を深めるとともに、生活を支援する基本的な技術が習得できている。 ・盲ろう者と生活の理解を深めるとともに、生活を支援する基本的な技術が習得できている。
中間考査				
11	認知症のある人に応じた生活支援技術	認知症介護の基本視点 認知症介護の目的・原則・手段・評価 認知症介護における生活支援の展開 事例をもとに演習	演習観察 レポート確認 自己評価	・認知症利用者の生活の理解を深めるとともに、生活を支援する基本的な技術が習得できている。
12	期末考査			
1	利用者の状態・状況に応じた生活支援技術	求められる介護福祉士像について	確認テスト	・これからの介護ニーズに対応する介護福祉士について考えることができる。
学年末考査				

#### 評価の観点及び趣旨

##### ①関心・意欲・態度

生活支援における課題について関心を持ち、利用者の生活の自立を目指して意欲的に学習に取り組むとともに、課題解決のための実践的な態度を身につけている。

##### ②思考・判断

介護に関する諸問題の解決を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して、適切に判断し創意工夫する能力を身につけている。

##### ③技能・表現

介護分野における基礎的・基本的な技術を身につけ、実際の支援内容を合理的に計画し、適切に実践するとともに、その成果を的確に表現する。

##### ④知識・理解

生活支援、介護における基礎的・基本的な知識を身につけ、生活支援技術の意義や役割を理解している。

「生活支援技術」の総合評価における各観点の割合

① 関心・意欲・態度	20	%程度	②思考・判断	20	%程度
③ 技能・表現	30	%程度	④知識・理解	30	%程度

